

沖 芸 大 第 3 9 8 号
令和 7 年 2 月 1 0 日

各関係大学長
各関係機関長 殿
各団体長

沖縄県立芸術大学
学長 波多野 泉
(公印省略)

教員公募について（依頼）

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび、本学では下記の要領により、教員公募を行うこととなりました。
つきましては、関係各位に御周知方よろしくお願い申し上げます。

記

- | | |
|----------|--|
| 1 職 名 | 准教授又は講師 |
| 2 採用人員 | 1 名 |
| 3 所 属 | 美術工芸学部 デザイン工芸学科 デザイン専攻 |
| 4 専門分野 | 視覚伝達デザイン分野
(グラフィックデザイン又はメディアデザイン) |
| 5 担当授業科目 | 美術工芸学部：
色彩構成、素描、デザインⅠ・Ⅱ-Ⅰ・Ⅱ-Ⅱ・Ⅲ-Ⅰ・Ⅲ-Ⅱ・
Ⅳ-Ⅰ・Ⅳ-Ⅱ、学外研究、ビジュアルデザイン論、デザイン特
別演習、デザイン演習A
大学院修士課程造形芸術研究科：
視覚伝達デザイン研究Ⅰ・Ⅱ、デザイン課題演習 |
| 6 応募資格 | 次の各号を満たす者
(1)博士又は修士の学位を有し、専門分野における優れた研究
業績と教育上の能力を有する者、若しくはこれと同等の業
績及び能力を有する者
(2)デザインにおける基礎教育及び専門教育ができる者
(3)上記の科目を担当できる者
(4)専攻及び大学の運營業務に積極的に携わることができる者
(5)採用後は沖縄県内に居住できる者 |
| 7 採用予定日 | 令和 8 年 4 月 1 日
※ただし、採用の日から 6 か月間は、試用期間となる。この間の |

職務を良好な成績で遂行したときに正式採用となる。

- | | | |
|----|--------|--|
| 8 | 就業場所 | (雇入れ直後) 首里崎山キャンパス、首里当蔵キャンパス
(変更の範囲) 変更なし |
| 9 | 就業時間 | 8時30分～17時15分(1日7時間45分勤務したものとみなす
裁量労働制を適用。) |
| 10 | 休憩時間 | 12時00分～13時00分 |
| 11 | 休日等 | 土日、祝日、沖縄県の休日(6月23日)及び年末年始(12月29
日～1月3日) |
| 12 | 月給 | 290,700円～455,600円(経歴により異なる)
※その他、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末手当、
勤勉手当等 |
| 13 | 加入保険 | 雇用保険、厚生年金・健康保険(公立学校共済組合)、公災 |
| 14 | 教員住宅制度 | あり(採用前に県外に居住し、県内に住居を持たない場合に本学
が民間住宅を借り上げる)
※家賃上限額等の条件あり。 |
| 15 | 受動喫煙対策 | あり(敷地内禁煙) |
| 16 | 応募締切日 | 令和7年4月25日(金) 必着 |
| 17 | 提出書類 | (1) 履歴書(本学所定の様式)
(2) 研究芸術活動業績書(本学所定の様式)
(3) 教育校務活動業績書(本学所定の様式)
(4) 社会活動業績書(本学所定の様式)
(5) 自薦書(本学所定の様式)
(6) 作品写真(作品に関する図録等を含む。)、著書(単著のみ、
3件以内)、論文等
※作品写真及び論文はUSBメモリで提出すること。
※上記所定様式については、本学ウェブサイトからダウンロードして使用すること。
(沖縄県立芸術大学ウェブページ：
https://www.okigei.ac.jp/employment/employment-index.html
教員の新規採用にかかる提出書類の様式(履歴書等)『教員用』) |
| 18 | 選考方法 | 一次選考：書類審査を実施する。
二次選考：一次選考通過者には面接及び模擬授業を実施予定 |

※面接・模擬授業予定日：令和7年6月16日（月）
※面接・模擬授業予定日の2週間前を目処に詳細な
時間等を通知する。
※面接に要する旅費等の経費は応募者負担とする。

- | | |
|-------------|---|
| 19 選考結果 | 採否は令和7年7月末日を目処に本人宛て通知する。 |
| 20 応募書類の返還 | 提出書類等は選考終了後に返送するので、返送用切手等を同封すること。 |
| 21 応募書類の提出先 | 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学 教務学生課 宛て 電話 098-882-5080
(郵便書留とし、宛名面左下に「デザイン専攻教員応募書類在中」と朱書きのこと。) |
| 22 問い合わせ先 | 沖縄県立芸術大学 教務学生課
電話：098-882-5080 E-mail：kyomu@okigei.ac.jp |
| 23 備 考 | (1) 本学の建学の理念を理解し、専門分野において教育・研究の意欲に溢れる者を求める。
(2) 学部において他専攻開設の専門関連科目のうち、デザイン分野の科目を担当することがある。
(3) 大学院後期博士課程を兼任することがある。
(4) 本学の定年は65歳である。
(5) 本学は、女性研究者の積極的な応募を歓迎する。本公募では、男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）に基づき、業績及び人物評価等の審査結果が同等と認められる場合には、女性を優先して採用する。 |